

リハビリを したい



高次脳機能障害はリハビリを続けることで
その症状が改善することが期待できます。

日常の暮らしの中でリハビリを行うことが大切です。

リハビリは、事故や病気になってからの経過、回復の状態、将来の目標などによって内容や期間などが異なります。「今、必要なリハビリは何なのか？」を医師や専門職と相談しながら、病院や施設、自宅でリハビリを行っていくことが大切です。

リハビリの流れ

発症・受傷からの流れ

急性期
疾患の治療
リスク管理など

回復期
在宅生活への準備
復学への準備
就労への準備など

生活期
在宅生活の継続
社会参加
復学
就労など

主なリハビリテーションの内容

基本動作訓練
安静から離床へ
寝返り・起き上がり・歩行などの訓練

**高次脳機能
障害に対する
訓練**
注意・言語・記憶
などの症状の改善や
苦手なことを補う
方法を身につける
訓練

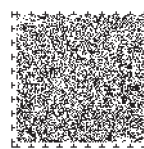
日常生活活動(ADL)訓練
食事・排泄・入浴などの
自立に向けての訓練

**手段的日常生活活動
(IADL)訓練**
家事
交通機関の利用
予定管理
金銭管理などの
訓練

生活リズム・体力
運動習慣、日課作り
数時間の活動など

就労準備訓練
仕事に向けての
準備

社会参加・就労など



裏面『リハビリを受けるには』をご覧ください。

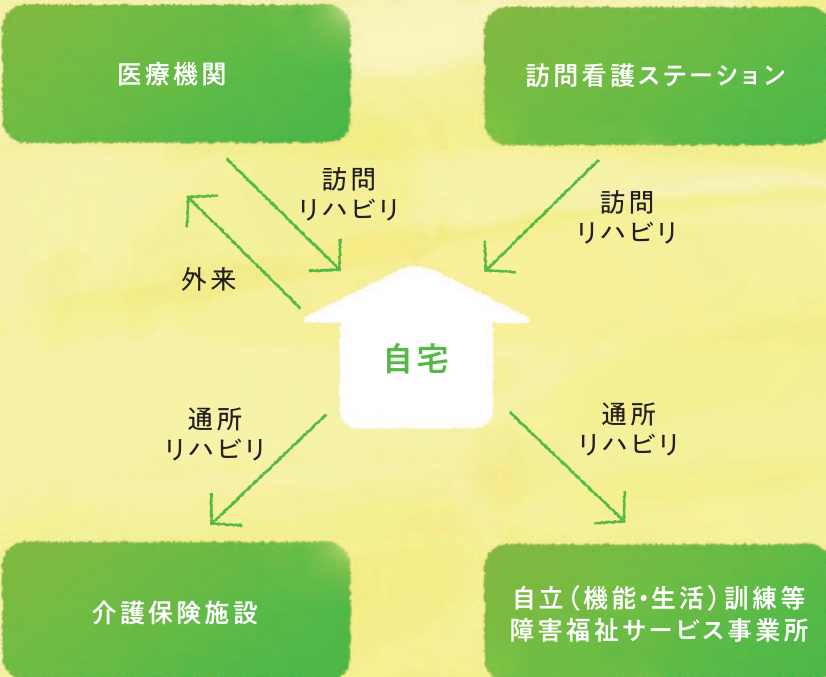
リハビリを受けるには

まず、現在かかっている病院の主治医やフォルダーP5の「専門窓口」に連絡をして、相談して下さい。



リハビリができる場所

「自宅(在宅)で受ける」か「施設で受ける」か、2つの方法があります。リハビリを行う施設には、医療機関・自立(機能・生活)訓練等障害福祉サービス事務所・介護保険施設などがあります。



それぞれ利用方法が違いますので、

No.1 <病院を
みつけない>

No.3 <利用できる
制度を知りたい>

No.5 <通える場所を
見つけたい>

を参照して下さい。

専門職のいる場所でリハビリをすることが効果的です

高次脳機能障害の各症状で
困っている人

作業療法士や臨床心理士がいる
病院や施設でリハビリをする方法
があります。

言語のことで
困っている人

言語聴覚士がいる病院や施設で
リハビリをする方法と、自主グルー
プに参加する方法があります。

No.7 <同じ障害のある
人たちと
出会いたい>も
ご参照ください。

専門職の配置されている病院・施設の情報

区西南部リハビリテーション連携マップ

ホームページ <https://www.cbr-hatsudai.com/know/>